



志津南

5月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (3/31 現在)
世帯数 2,489 総人口 6,646 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

地域支えあいの仕組みづくり学ぶ

「医療福祉を考える会議」今後も継続

高齢者を支える仕組みについて学ぶ参加者



河邊愛さん
③地域支えあい活動の事例(学区社協 垣根和子さん)
志津南学区には高齢化が急速に進む地域がある一方、子育て世代が多く暮らす地域もあり、多世代にわたる様々な課題に対応した地域

支えあいが必要となります。その仕組み作りを進めるために、今後も医療福祉を考える会議を継続して実施していきます。

なお、志津南学区の高齢者に関する相談窓口は高穂地域包括支援センターです。身近なお困りごとがあれば各町内担当の民生委員にお気軽にご相談下さい。

パワフルな活動に大きな拍手

草津市社会福祉協議会主催の第4回草津市福祉教養大学・第2講座が3月22日、市立市民総合交流センターで行われ、奥田隆三氏(若草四丁目)がパネリストとして「地域福祉の良さ、生きがいづくり」をテーマに講演されました。

自分のことを「ただの素老人でございます」とあいさつして会場を和ませ、生きがいは「感じさせてくれる・人脈の広がりをつくる・心身を豊かにしてくれる」と語り、12年間代表を継続されている地域サロン「若草いきいきクラブ」の活動を発表しました。

最後に、健康維持のため自身が毎朝されているという奥田流鍛錬体操を披露して下さい、聴講生全員が体

「誕生と 同じ心臓 今日も丸」
少年兵として戦争体験も持ちの奥田さんは地域の様々な分野で活動して来られました。小学生下校時の見守り、やすらぎ学級・老人会の会長、また囲碁ホールクラブ・グラウンドゴルフなどの立ち上げにも参画90歳を過ぎた今もなお、リーダーとして皆に慕われパワフルに活躍中です。

志津南学区社会福祉協議会(松崎大次郎会長)は3月26日、市健康福祉部地域保健課、市社会福祉協議会、高穂包括支援センターと共催で「医療福祉を考える会議」を、志津南まちづくりセンターで開催しました。

この会議は、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりのために、地域住民と医療・介護の専門家が連携し、地域支えあいの仕組みを作っていく場として、令和2年9月に始まりまし

た。その後コロナ禍の影響で中断し、今回が2回目となります。令和3年度・4年度の社会福祉委員、学区社協企画委員、及び前述の市行政関係者の32人が出席し、「高齢者をささえるしくみ」をテーマに、次の三者の発表から学びました。

①介護保険制度の概要(草津市高穂地域包括支援センター 朝倉彩子さん)
②当学区の高齢者の暮らしの実態(草津市健康福祉部



講師を務める奥田氏(右端)

会場を巻き込んで鍛錬体操

センター人事異動
志津南まちづくりセンターでは3月末で、5年間の地域の方々に親しまれてきた小林恵理子さんと、短期間でしたが北村昌彦さんが期間満了で退職。4月1日付けで、新採用で安澤早苗さんが職員として、下楠美信さんが夜間管理業務専任者として赴任されました。

新体制で地域の皆さんに愛され、親しんでいただけるまちづくりセンターを目指し、心新たに取り組んでまいります。よろしくお願いたします。

▽安澤 早苗さん(新任)
4月1日よりお世話になります。知らない事が多くご迷惑をお掛けしますが頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

「プ」の活動を発表しました。いきいきクラブでは、百歳体操に取り組みだけでなく、終了後「奥田式オリジナル百歳体操(脳トレ)」が盛り込まれています。これがまた大好評とか。体操後は、茶話会を開き、大人の紙芝居を楽しむなど和やかな交流で盛り上がります。会員の様を「令和の老中女中 大奥さながら」と冗談。

「誕生と 同じ心臓 今日も丸」
少年兵として戦争体験も持ちの奥田さんは地域の様々な分野で活動して来られました。小学生下校時の見守り、やすらぎ学級・老人会の会長、また囲碁ホールクラブ・グラウンドゴルフなどの立ち上げにも参画90歳を過ぎた今もなお、リーダーとして皆に慕われパワフルに活躍中です。

2団体夏原グラント採択

夏原理事長(中央)と
公益財団法人平和堂
「2022年度夏原グラント」



志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)は緑の手入れを通して、高齢者支援対策と空き家対策の事業を推進していることが評価されました。芝桜プロジェクト(大橋稔代表)は、

地域の環境保全活動を助成する平和堂財団「夏原グラント」が4月16日クサツエスタジオホテルで、今年の採択団体を対象に助成金贈呈式を行い、採択を受けた「志津南環境美化ボランティアの会」と「芝桜プロジェクト」の2団体が参加しました。



地区内にある調整池などの雑草地を芝桜で変容させていく事業を推進しています。これら2件は共に、通算5年間助成を受けてきており、事業の立ち上げ、維持拡大、推進の大きな助けになっています。

人権は永遠のテーマ
地域サロン若草一味クラブ(早川將会長)の福祉部は3月23日、第五集会所で人権について話し合いをし、20人が参加しました。グラウンドゴルフの後、人権ビデオ「わかかカフェ」を視聴しました。写真。

「人権は現在の社会で守られているだろうか」「差別、いじめのない社会を築くための行動はどうすればいいか」「自分の人権が侵害されている、また侵害している場合もあることに気づかされた」「人権侵害の最たる例がロシアのウクライナ侵攻、悲惨な戦争が一日も早く終わる事を願う」等、深い話し合いができました。メンバー62人は、健康維持と会員相互の親睦を図り、社会福祉の向上と増進を図ることを目的として活動しています。地域の皆様のご参加をお待ちしています。

町内会長・自治会長決まる

令和4年度各町内会長・自治会長は次の皆さんに決まりました。

若草3丁目 野瀬正昭	若草2丁目 徳田光夫	若草1丁目 淵側良太
-------------------	-------------------	-------------------

若草6丁目 藤井崇弘	若草5丁目 島田達生	若草4丁目 中嶋 守
-------------------	-------------------	-------------------

岡本町西 川田拓也	若草8丁目 西田 洋	若草7丁目 森岡良美
------------------	-------------------	-------------------

追分南 高田篤司	追分鴨田 小原恵美子	コーザガーデン 田中昭彦	かがやきの丘 東川八恵子
-----------------	-------------------	---------------------	---------------------

健康維持に百歳体操



残念ながらお二人欠席で記念撮影

追分南「元気くらぶ」はいきいき百歳体操の参加回数をカウントし、昨年度は次の方々がそれぞれの回数を達成されました。(敬称略) 100回 森下むつ、山下慈子。150回 佐々木佐智子。250回 上村敏子、深井佐知子、和氣昂介、和氣通子、太田波子、岸田隆岸田千鶴子。300回 片

岡サツ子。一年間一日も休まず実施でき、300回の達成者も出ました。今年で丸7年を迎え、参加者の健康維持に欠かせなくなっています。また、新規参加者も増えてきており皆で元気に和気あいあいとした雰囲気です。興味のある方は一度見学にお越し下さい。



地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口です。草津市では、中学校区に1か所ずつ、地域包括支援センターを設置し、志津南学区は、高穂地域包括支援センターが担当です。高齢者が地域で安心して生活できるように、介護・福祉・医療など様々な面から専門職がチームとなつて相談・支援を行っています。

今号より、地域の皆さんの福祉(ふだんのくらしのしあわせ)につながる情報を、随時このコーナーで提供いたします。今月は、地域に密着した高齢者の相談窓口である、高穂地域包括支援センターをご紹介します。

高穂地域包括支援センター

「地域包括支援センターの業務」
・介護や健康づくり：介護保険申請、介護予防や総合事業のサービスに関すること
・地域のネットワークづくり：医療機関や介護事業所、民生委員などと連携した地域づくり、ケアマネジャーの支援



高穂地域包括支援センター
〒319-0237 草津市山寺町837(特別養護老人ホーム葛蒲の郷内)
電話(561)8143
FAX(561)9524
平日8時30分~17時15分
担当学区 志津、志津南、矢倉

別れの春・出発の春

春は、共に過ごした仲間と別れると同時に、新しい出会いの季節です。新しい世界へ希望の一步を踏み出してほしい。



志津南小学校(山田容子校長)は4月11日、入学式を挙行了しました。

保護者と一緒に入学式に臨んだ新一年生



今年度も新型コロナウィルスによる感染拡大が懸念される中での開催ということもあり、内容を精選し、短縮した形での実施となりました。短縮したとは言え、新一年生の元気な声ときらきら

とした笑顔がいっぱいの入学式は、保護者の皆様だけでなく、教職員にとっても心があたたまるとなる時間となりました。

挑戦する力を

高穂中学校(作田まさ代校長)は4月11日、第39回



入学式を行い、339人の新入生を迎えました。コロナウィルスによる感染に配慮し、新入生入場から退場まで1時間で終わられるよう、配慮しました。作田校長は、連日報道される競争のニュースにも触れ、勇気をもって挑戦していく力を身につけるようにと、式辞を述べました。一生のうちで、人が最も成長する時期が2回あり、1回目の生まれてすぐは体重や身長が伸びるが、2回目の中学生の時期には「考える力」「人を思いやる力」が伸びるといって校長先生の話に、新入生たちは決意を新たにしていました。在校生代表として、生徒会役員10人が式に参加し、



手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。

手話はろろ者のコミユニケーション手段ですが、すべてのろう者が全く同じ手話表現をしていてはならず、ろう者の個性や年齢層などによって違いがあります。また、方言のような地域性もあります。それは地域ごとに日常の身振りや生活文化から発展してきたからです。



洗面所蛇口取り換え 志津南まちづくりセンターでは、昨年度に女子トイレ手洗い蛇口を、本年度に男子用トイレの蛇口を取り替えました。来館者の高齢化に伴い、握力も低下、従来の回転式蛇口は25年の経年劣化も伴い、使い勝手が悪く、完全に止水できない状態となっていました。漏水に気づかず長時間放置の時もあり、節水効果を発揮できるよう、四力所を上下式レバーの蛇口写真に取り替えました。利用者からは、コロナ感染防止に衛生的で小指一本で操作も簡単と好評です。

新入生入退場の際のアーチを作りました写真。役員たちの入学当時は、全員が一室に会する式典の実施ができなかったため、厳粛な

式典に初めて参加し、とても感動したようでした。これから充実した楽しい中学生生活を送って欲しいと思います。

- 西東社 平目きりり
ポプラ社 なかえよしを
方丈社 五味太郎
講談社文庫 辻村深月
扶桑社 しゃきたかじん
扶桑社 人生、捨てたもんじゃない
幻冬舎 有川浩
小学館文庫 なぎさホテル
伊集院静 小学館新書 忍びの滋賀
姫野カオルコ

滋賀県出身の筆者が滋賀をユーモラスに語ったエッセイ。滋賀の魅力再発見かも…。『忍びの滋賀』とは気になりませんか？



今月の志津南文庫

ぬり絵コーナーで楽しむ子どもたち



はじける笑顔100%

ボランティアグループ「もっこもこ」(花澤佳代子代表)は3月29日、志津南まちづ

咲き誇る春愛でて



満開の桜を満喫する参加者とスタッフ

ふれあいハウス「絆」は4月3・4日、満開となった児童公園の桜を愛でながら、桜餅を用意して花見を楽しみました。二日間、45人が訪れ、和やかなひと時を過ごしました。三々五々お客様を迎え、室内やサンデ

を、お母さん達がにこにこで見守っていました。終わりの時間が来たことを告げると、まだまだ遊び足りない子どもたちはとても残念そうでした。帰りにプレゼントを貰うと「ありがとうごさいました」とお礼を言い、元気に帰って行きました。「気をつけてね」と声をかけ、見送るスタッフの心も温かくなりました。次回は夏休み7月に予定しています。また、楽しく遊びましょう。詳細は、回覧などでお知らせします。

ウオーキング参加者募集 志津南健康推進員連絡協議会(千金榮晃子代表)は、次の要領で春の「健康ウォーキング」を実施します。▽日時 5月28日(土) 9~12時

▽集合 志津南まちづくりセンター 9時

▽行先 桐生(若人の広場) 参加費 100円

▽申込先 志津南まちづくりセンター 電話 563-6206

▽締切 5月21日(土) 持ち物 飲み物・汗拭きタオル等

▽帰着時におにぎりをお渡しします。 多数のご参加をお待ちしています。

パソコンの駅

▽パソコンについての相談

▽5月25日(水) 6月25日(土) 13時~16時

▽センターサロン 地域内困りごと相談窓口を兼ねています。

資源回収

★かがやきの丘町内会

□毎月第1・3日曜日

□毎月第1・3土曜日

★フォレストロース子供会

□毎月第2日曜日

□毎月第2・4日曜日

★若草6~8丁目町内会

□毎月第2・4土曜日

★向山子供会

※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス・雑紙

閑遊々

前号でボランティアに入

った経緯の続きをと思っ

ていましたが、ここ数日

で芝桜が一気に咲き始め

ました。花の命は短くて...と

言いますので、急遽「芝桜

プロジェクト」の話に変更

です。立ち上げた経緯に関

しては、志津南ニュース

2008号で紹介している

ので、その後についてお

話します。プロジェクトの

原点は調整池です。フェ

ンスに沿って1m幅100

mほどの畔板花壇を完成

させましたが、もう少し

幅を拡げたいという見

栄えが良くなる、やろ

うよ!との意見がありました

。一方で、前回の作業で

燃りた、もうシンドイ

から止めとけ!とか賛否

両論が噴出。そこで賛

成者のみでボチボチ

やろうと考えていま

す。

風見鶏も、リニューアル

芝桜プロジェクト

本物の桜と芝桜の舞台

。入学式のベスト撮影

スポットになった模様

です。中央公園の砂

場横には、瓢箪型花壇

を設置しました。我々

仲間「ひよっこりひ

よたん島世代!」なの

です。ある日作業を

していたら、近くに

いた幼児も手伝い

に参加。世代を超え

ての「ひよたん島

花壇」が完成しま

した。このように「

芝桜プロジェクト

」は皆さんの温かい

ご支援・ご声援が、

強力な推進力とな

ります。これか

らも、宜しくお願

いします!(M・O)